

第4号

2016年5月25日 発行

(平成28年)

せいしょうの かい なかちょう さぎょうしょ かい ほう
青松の会 中町作業所 会報



おおぞら



就任ご挨拶

副理事長 飯尾 堯彦

“青松の会”のみなさん、こんにちは！

会報「おおぞら」では、はじめてお会いすることになりました、副理事長の飯尾堯彦（いいおたかよし）です。そして、まず、どんな人間なのかを知っていただくために諸々のことをご紹介しますと思います。

<趣味> 囲碁「腕前は3か4段ぐらいかな?」。陶器や漆器を見たり買ったり（高価なものは、飽きもせず恨めしそうに見つづけている）。旅は、史跡や秘湯めぐり・ヨーロッパ、落語「志ん生の大ファン、ほれほれするね!」。最近の愛読書は、「憲法、藤沢周平・益川敏英氏など」……。

<関わっている団体> 青松の会・目黒区障害児者の生活を向上させる会・年金者組合目黒支部・目黒社会保障推進協議会・目黒区職労退職者会・めぐろ囲碁部OB会などで、日々、忙しく・楽しみながらこま鼠のように、でも力を抜くときは抜きながら。

<家庭の中も少しだけ> いま、息子・娘・息子たちがそれぞれに独立しているので、アウトドアの妻と二人暮らしです。ですから、偶然なのか、神様のお告げなのか、朝夕食の時には、お互いの健康を確かめ合う程に過ごしています。

まあ、この程度の人間ですので、これからも、気楽にお付き合いの程よろしくお願ひします。

さて、中町作業所との出会いは、私が目黒区障害者福祉課で民間の通所作業所に運営費の補助事業を担当していた頃、そうですね40年前に、(旧) さくら作業所の穏やかな松沢さんでした。確か、作業所は10畳ぐらいのアパートの一室で運営されていました。

40年後に、作業所を訪ねて立派な施設に驚きましたが、今ではこのぐらいが当たり前で、むしろ人間的に考えれば貧しすぎるのかもしれない。そう、思いませんか？

一面、作業所を訪ねると、利用者や指導員の方から、爽やかで明るい顔で「こんにちは」「いらっしやい」と声掛けをしてくれることに、この作業所の雰囲気がいじみ出ています。この雰囲気を持ち続け、みなさんとともに「新しい施設」にも運んでいきましょう。

☆☆☆☆☆ 研修旅行報告 ☆☆☆☆☆

千葉(北総) 2016. 3. 11(金)

大型観光バスでの日帰り旅行。朝8時30分作業所を出発。首都高速、東関東自動車道を経由して佐倉IC.で降り、佐倉きのこ園へ。無農薬の菌床栽培のしいたけ狩りを楽しみました。一人600gほど持ち帰り。当日でしたらさしみが最高。茎は、最近佐倉の松茸といわれるほど美味!!! 後日、家族の方々から「おいしかった!」との声が寄せられた。



しいたけ狩り



昼食は成田山新勝寺近くの観光センターで。陶板焼き、おさしみ、てんぷら等の和食膳。



成田で昼食

昼食後は、千葉県立房総の村へ。



河津桜が満開でした

江戸時代の町並みを再現した通りを散策したり、畳屋さんの店先で畳のコースター作りを体験。



河津桜が何本もあり、満開で見事でした。



午後5時、作業所に帰着。

☆☆☆☆☆ 作業所開放報告 ☆☆☆☆☆

2016. 2. 20(土)

毎年恒例の作業所開放を清水実習所と共同で行いました。

あいにくの天候で、どの

くらいの方が来所されるか心配しましたが、かなりの方がお見えになり、感謝しております。利用者の現在の心境等を写真入りで掲示したり自主製品の展示販売、豚汁・甘酒・ソーセージ・

ソフトドリンク等の販売をボランティアの方々の協力を得て盛会裡に終わることができ、感謝と共にうれしい気持ちでいっぱいです。

来年もがんばります。



中町作業所（仮称）新施設建設について

十数年の時間をかけて、ようやく地域の中で中町作業所という“個”が出来、作業所活動が本格的になってきた時に、作業所移転という大きな課題が生じました。

それから一年以上の時間が過ぎ、補助金申請書類の作成と交渉、打ち合わせを重ね進めてきた作業所移転・新施設建設ですが、4月1日によりややく建設費の一部補助決定が東京都より内示されました。

これにより建設準備がいよいよ本格的になってきているため、慌ただししい日々を送っています。

極力、利用者の皆さんを始めとした現場には影響が少ないように注意してはおりますが、やはり完全にとりくみには行かず、申し訳ない気持ちで一杯です。

それ以外にも近隣住民の方々の十分な理解を得て、工事を速やかに進捗させなければなりません。

そして、工事期間が終了した後、施設移転が始まります。新たな地域に受け入れられいかに早く新天地に根をおろすことができるか、それも大きな課題の一つと考えています。

まだあと一年以上かかる大きな事業です。

皆さまの更なるご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（文責 熊谷）

熊本地震におきまして、被災地および周辺地域の被害にあわれた皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

ホームページについて

下記のURLにて、青松の会中町作業所のホームページを開設しています。
どうぞご覧下さい。

<http://www.ac.auone-net.jp/~nakachou/>
又は、「中町作業所」で「検索」してご覧下さい。

・・・・・・・・ 青松の会中町作業所 職員紹介

〈所長〉熊谷重信 〈主任〉前田友江

〈支援担当〉土井清志・伊能芳隆 〈事務担当〉梅川百合子

〈支援員〉石原道 ・ 川名立子 ・ 加藤由香里 ・ 青木紀子

< 中町作業所活動紹介 >

自主製品

- 《 ステンシルによる布巾、ハンカチの製作 》 《 木工加工（キーホルダー） 》
- 《 ビーズワーク（ストラップ・ネックレス・ブレスレット・携帯ピアス・バッグチャーム等） 》
- 《 季節の置物作り（干支飾り等） 》 《 ろうけつ染め、しぼり染めのエコバッグ 》



ネックレス



季節の置物作り



布巾・ハンカチ

外注作業内容



菓子袋折りと紐通し



広告差し込み



箱折り

官 公 儒 ・ 区立公園清掃2ヶ所 ・ 四十雀巣箱作り

企業受注 ・ 鑑賞魚用エアポンプの部品組立て ・ 箱折り
菓子袋折りと紐通し ・ タウン誌の広告差し込み
毛糸のサンプルセット作成



公園清掃

…… 企業受注承ります。お問い合わせください ……

編集後記

第4号を発行することができホットしてます。素人の手作り会報ですので、何かと不備な点が多いと思いますが、お気付きのことがありましたら、是非お知らせ下さい。次号は11月発行予定です。出来れば内容のチェックを厳しくしていきたいと思ってます。 (B)

特定非営利活動法人青松の会中町作業所

〒153-0065 東京都目黒区中町1-25-22

TEL & FAX : 03-3792-4465

E-mail : npo.seishounokai-nakachou@ae.auone-net.jp

発行人 熊谷重信

賛助会員を募集しております。一口（1,000円）以上、どうぞご協力のほどお願い申し上げます。お申込み、お問い合わせに関しては、中町作業所へお願いいたします。